

平成29年度 全国高等学校総合体育大会水泳競技大会

第85回日本高等学校選手権水泳競技大会

8月17日(木)～20日(日)	競 泳 競 技	宮城・セントラルスポーツ宮城G21プール
8月17日(木)～20日(日)	飛 込 競 技	宮城・セントラルスポーツ宮城G21プール
8月17日(木)～20日(日)	水 球 競 技	宮城・ヒルズ県南総合プール

競 泳 競 技

- ◇主 催 (公財)日本水泳連盟・(公財)全国高等学校体育連盟・宮城県・宮城県教育委員会・利府町・利府町教育委員会
- ◇共 催 読売新聞社
- ◇主 管 (公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部・宮城県高等学校体育連盟・(一財)宮城県水泳連盟
- ◇後 援 スポーツ庁・(公財)日本体育協会・日本放送協会・(公財)宮城県体育協会・利府町体育協会
- ◇協 賛 J T B

◇期 日

- (1) 開会式 平成29年8月17日(木) 9時30分～
- (2) 競 技 平成29年8月17日(木)～8月20日(日) 4日間
- (3) 閉会式 平成29年8月20日(日) 15時50分～(予定)

◇会 場

- (1) 開会式 セントラルスポーツ宮城G21プール
〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1 TEL 022-356-1122
- (2) 競 技 同 上
- (3) 閉会式 同 上

◇公式計時 S E I K O

◇競技方法 2017年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則による。

- (1) 予選はタイムレースとし、決勝・B決勝は各8名(チーム)で行い、3名の補欠をとる。ただし、400m以上の種目はB決勝を行わない。その場合の補欠は2名(チーム)とする。
- (2) 決勝進出において、同記録で定員より増加した場合は、スイムオフを行う。ただし、自由形800m・1500m・男女4×200mフリーリレーは抽選とする。リレーのスイムオフは、予選競技と同じメンバーが同じ順番で泳ぐこと。
- (3) B決勝進出において、16位が同着の場合は抽選を行う。また、補欠が同記録の場合は、抽選によって優先順位を決定する。
- (4) 競技は予選10レーン、決勝・B決勝8レーンとする。

◇競技種目・競技日程

(1) 競技種目

種 目	男 子	女 子
自 由 形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
背 泳 ぎ	100m 200m	100m 200m
平 泳 ぎ	100m 200m	100m 200m
バ タ フ ラ イ	100m 200m	100m 200m
個 人 メ ド レ ー	200m 400m	200m 400m
フ リ ー リ レ ー	4×100m 4×200m	4×100m 4×200m
メ ド レ ー リ レ ー	4×100m	4×100m

(2) 競技日程

第1日 8月17日(木)

1	女子	400m自由形	(予選)	9	女子	400m自由形	(決勝)
2	男子	400m自由形	(予選)	10	男子	400m自由形	(決勝)
3	女子	200m個人メドレー	(予選)	11	女子	200m個人メドレー	(B決勝)
4	男子	200m個人メドレー	(予選)	12	女子	200m個人メドレー	(決勝)
5	女子	200m平泳ぎ	(予選)	13	男子	200m個人メドレー	(B決勝)
6	男子	200m平泳ぎ	(予選)	14	男子	200m個人メドレー	(決勝)
7	女子	4×100mフリーリレー	(予選)	15	女子	200m平泳ぎ	(B決勝)
8	男子	4×100mフリーリレー	(予選)	16	女子	200m平泳ぎ	(決勝)
				17	男子	200m平泳ぎ	(B決勝)
				18	男子	200m平泳ぎ	(決勝)
				19	女子	4×100mフリーリレー	(決勝)
				20	男子	4×100mフリーリレー	(決勝)

第2日 8月18日(金)

21	女子	50m自由形	(予選)	30	女子	50m自由形	(B決勝)
22	男子	50m自由形	(予選)	31	女子	50m自由形	(決勝)
23	女子	200mバタフライ	(予選)	32	男子	50m自由形	(B決勝)
24	男子	200mバタフライ	(予選)	33	男子	50m自由形	(決勝)
25	女子	200m自由形	(予選)	34	女子	200mバタフライ	(B決勝)
26	男子	200m自由形	(予選)	35	女子	200mバタフライ	(決勝)
27	女子	100m背泳ぎ	(予選)	36	男子	200mバタフライ	(B決勝)
28	男子	100m背泳ぎ	(予選)	37	男子	200mバタフライ	(決勝)
29	男子	1500m自由形	(予選)	38	女子	200m自由形	(B決勝)
				39	女子	200m自由形	(決勝)
				40	男子	200m自由形	(B決勝)
				41	男子	200m自由形	(決勝)
				42	女子	100m背泳ぎ	(B決勝)
				43	女子	100m背泳ぎ	(決勝)
				44	男子	100m背泳ぎ	(B決勝)
				45	男子	100m背泳ぎ	(決勝)
				46	女子	800m自由形	(予選)

第3日 8月19日(土)

47	女子	100m自由形	(予選)	55	女子	800m自由形	(決勝)
48	男子	100m自由形	(予選)	56	男子	1500m自由形	(決勝)
49	女子	200m背泳ぎ	(予選)	57	女子	100m自由形	(B決勝)
50	男子	200m背泳ぎ	(予選)	58	女子	100m自由形	(決勝)
51	女子	400m個人メドレー	(予選)	59	男子	100m自由形	(B決勝)
52	男子	400m個人メドレー	(予選)	60	男子	100m自由形	(決勝)
53	女子	4×100mメドレーリレー	(予選)	61	女子	200m背泳ぎ	(B決勝)
54	男子	4×100mメドレーリレー	(予選)	62	女子	200m背泳ぎ	(決勝)
				63	男子	200m背泳ぎ	(B決勝)
				64	男子	200m背泳ぎ	(決勝)
				65	女子	400m個人メドレー	(決勝)
				66	男子	400m個人メドレー	(決勝)
				67	女子	4×100mメドレーリレー	(決勝)
				68	男子	4×100mメドレーリレー	(決勝)

第4日 8月20日(日)

69	女子	100mバタフライ	(予選)	75	女子	100mバタフライ	(B決勝)
70	男子	100mバタフライ	(予選)	76	女子	100mバタフライ	(決勝)
71	女子	100m平泳ぎ	(予選)	77	男子	100mバタフライ	(B決勝)
72	男子	100m平泳ぎ	(予選)	78	男子	100mバタフライ	(決勝)
73	女子	4×200mフリーリレー	(予選)	79	女子	100m平泳ぎ	(B決勝)
74	男子	4×200mフリーリレー	(予選)	80	女子	100m平泳ぎ	(決勝)
				81	男子	100m平泳ぎ	(B決勝)
				82	男子	100m平泳ぎ	(決勝)
				83	女子	4×200mフリーリレー	(決勝)
				84	男子	4×200mフリーリレー	(決勝)

※ リレー種目の決勝の前に、表彰式終了後15分程度の休憩を入れる。

◇申込規定

1. 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し平成29(2017)年度(公財)日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。
- (3) 年齢は、平成10(1998)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録エントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する)
大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。ただし、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校・転籍後1年未満の者は、参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長および所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 上記（３）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技３回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、年齢、修業年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失わず、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある学校の職員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(9) 前記(1)～(8)の他、以下によって参加資格を得た者。なお、地域大会に申込みした者に限る。

ア 地域大会において、各決勝種目３位までの入賞者、またはチーム。

イ 地域大会において、予選および決勝を問わず全国大会の標準記録を突破した者、またはチーム。なお、同タイムも含む。

〈ア、イの確認事項〉

注1 個人種目では、必ず標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレーの第1泳者による正式時間での記録では標準記録の突破とは認められない。

注2 都府県大会の記録で出場することは認められない。

注3 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注4 フリーリレーおよびメドレーリレーは、地域大会における予選・決勝で出場資格を得たメンバーの中から4名と、別に補欠1名を申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注5 全国大会へのエントリータイムは、地域大会の予選・決勝のうち速いタイムとする。

注6 女子4×200mフリーリレーの参加は、地域大会において女子4×100mフリーリレーで参加資格を得たチームとする。申し込みができる選手は、女子4×100mフリーリレーに申し込む4名と補欠1名とする。ただし、競技の際は、個人種目に出場する者と交代させることができる。

ウ 各都府県特別措置

地域大会において、全国大会の出場資格を得なかった都府県は、男女各1名を1種目のみ、出場資格者として各都府県の高等学校体育連盟および加盟団体で推薦することができる。出場資格者が男女どちらか一方の場合は、出場資格がない方について1名1種目の推薦を認める。

注1 推薦は自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの100m、200m、および200m個人メドレー、50m自由形の種目中、地域大会において全国大会の標準記録に最も近い記録の者とする。

エ 全国大会開催都府県特別措置

開催都府県で、自由型、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの100m、200m、および200m個人メドレー、50m自由形の種目において出場者を得られなかった場合は、地域大会の上記該当種目に出場した最上位の者、男女各1名を、大会出場者として全国大会開催都府県の高等学校体育連盟および加盟団体で推薦することができる。

※ 北海道は、1道1地域のため、ウおよびエの特別措置の対象とはならない。

オ 全国大会特別措置

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。リレー種目についても、予選会において代表選手がチームの一員として出場し、全国大会標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。ただし、ウ・オについてその理由書を都道府県委員長に提出し、その後、下記申込先へ提出すること。届出者は、当該学校長とする。

- (ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (イ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟会長
- (ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (エ) 全国大会開催地都道府県高等学校体育連盟会長

(上記に関する出場措置は、次のように行う。)

(1) 個人種目について

- ア 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで+派遣選手とする。
- イ 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域の出場者を3名とする。

(注)各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中を含めなければならない。

(2) リレー種目について

- ア 当該年度(4月2日以降)長水路の公式記録を採用する。(各個人の合計記録は認めない)
- イ チームとしては、都道府県予選会、地域大会には出場する。地域大会の記録を優先し、突破できなかった場合に適用する。(代表選手が出場した場合は除く)

カ 標準記録

種 目	男 子	女 子	
自 由 形	50m	24.47	27.25
	100m	52.85	58.81
	200m	1:55.31	2:06.43
	400m	4:04.65	4:25.61
	800m		9:11.13
	1500m	16:22.25	
背 泳 ぎ	100m	59.03	1:04.88
	200m	2:08.74	2:19.16
平 泳 ぎ	100m	1:05.07	1:13.24
	200m	2:19.68	2:36.50
バタフライ	100m	56.26	1:02.89
	200m	2:05.04	2:18.19
個人メドレー	200m	2:08.69	2:22.63
	400m	4:33.44	5:03.14
フリーリレー	4×100m	3:37.19	4:02.26
	4×200m	7:52.81	
メドレーリレー	4×100m	3:57.49	4:26.16

2. 参加制限

1校1種目3名以内、1名2種目以内（ただし、リレーを除く。）とする。

3. 参加申込

【個人情報の取扱いに関して】

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。（詳しくは実施要項の最終ページを参照してください。）

(1) 申込書類

A 競泳（男女別）参加種目別一覧表及び学校長認知書……（複写式4枚綴り）

- 1 会場地事務局送付用（複写1枚目）
- 2 宿泊申込書添付用（複写2枚目）
- 3 都道府県高体連事務局提出用（複写3枚目）
- 4 地域大会主管団体提出用（複写4枚目）

B 参加校別選手数一覧及び参加料納入書……（ダウンロードにより2枚作成）

- 1 会場地事務局送付用
- 2 都道府県高体連水泳専門部控用

C CD-Rデータ……2部作成

各ブロック大会における以下の2つのデータを記録すること。

- 1 リザルトデータシステムにて3位入賞および標準記録突破処理をしたSCM形式データ
- 2 大会バックアップデータ（全データ）リザルト形式

D 競技会申込（エントリーTIME）一覧（Web-SWMSYSで集計、印刷したもの）

Web-SWMSYSによりリレーのみエントリーを行い、その集計・印刷した書類

※リレー競技出場校のうち、リレーのみ出場する補欠選手がいる場合に限り、その補欠選手のみを入力する。

(2) 申込方法

ア 参加校が作成・手続き・保管するもの

- ① 「A. 競泳（男女別）参加種目別一覧表及び学校長認知書（以下、「A. 学校長認知書」という。）」
全国大会への参加資格を取得した選手またはチームは「A. 学校長認知書」を作成し、地域大会の期間中に、「4 地域大会主管団体提出用」（複写4枚目）を地域大会主管団体に提出し、残り3枚は持ち帰る。

※ 引率者、リレー種目の補欠については原則記入とするが各都道府県の高等学校体育連盟（以下、この項においては「高体連」という。）水泳専門部へ提出する際に記入してもよい。

- ② 地域大会終了後、持ち帰った「A. 学校長認知書」（複写式1、2、3枚目）に学校長印を押印した上で、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込日までに提出する。
- ③ リレー競技出場校のうち、リレーのみ出場する選手がいる場合は、Web-SWMSYSによりエントリーを行い、集計処理後、「D. 競技会申込（エントリーTIME）一覧」を印刷し、学校長印を押印の上、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込日までに提出する。

イ 各都道府県高体連水泳専門部が作成・手続き・保管するもの

- ① 「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」

「はばたけ世界へ 南東北総体2017」ホームページから「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」の様式をダウンロードして参加申込期限までに2部作成する。1部は参加料振込証明書（各金融機関の振込金受取書又はATM利用明細票等）を添えて全国大会会場地実行委員会事務局（以下「会場地事務局」という。）へ送付する。残り1部は各専門部の控えとする。

なお、作成したデータは会場地事務局へメール添付して提出すること。

- ② 「A. 学校長認知書」

各学校から提出された「A. 学校長認知書」を2部コピーし、1部ずつ参加校および各専門部の控えとするとともに、残りの3枚は次の送付先へ送付する。

- 1 会場地事務局送付用（複写1枚目）……会場地事務局へ
- 2 宿泊申込書添付用（複写2枚目）……宿泊申込書に添付し、宿泊申込先へ
- 3 都道府県高体連事務局提出用（複写3枚目）……各都道府県高体連事務局へ

③ 「D. 競技会申込（エントリーT I M E）一覧」

リレーのみ出場する選手がいる学校から提出された「D. 競技会申込（エントリーT I M E）一覧」は、会場地事務局へまとめて送付する。

ウ 地域大会主管団体が作成・手続き・保管するもの

① 「A. 学校長認知書」

地域大会の期間中に参加校から提出された「A. 学校長認知書」の内容を確認し、3枚（複写式1、2、3枚目）を参加校に返却する。「地域大会主管団体提出用」（複写式4枚目）は、地域大会主管団体にて保管する。

② 「C. C D - R データ」

2部作成し、1部を保管し、他の1部は会場地実行委員会事務局にプリントアウトした用紙と一緒に送付する。

※「プリントアウトした用紙」とは、プログラム形式結果一覧（8または10組版の連続指定のもの）、標準記録突破者処理等にて作成された標準記録突破者がわかる一覧を指す。

「C. C D - R データ」の会場地事務局分については、地域大会終了後3日以内に会場地事務局に送付し、正常に読み取り処理ができたことを確認すること。なお、メール添付によるデータ提出でも可とする。

(3) 申込先

ア 会場地事務局

大会要項参照のこと。

(4) 申込期限 平成29年7月28日（金）正午 必着

ア 地域大会終了後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は、本大会選手数を、当該都道府県高等学校体育連盟事務局に届け出ることを義務とする。

イ 申込書類については、必ず簡易書留郵便で送付すること。

(5) 「はばたけ世界へ 南東北総体2017」ホームページ

《<http://2017soutai.jp/>》

4. 参加料

(1) 1人 4,000円

(2) 納入方法

ア 参加申込と同時に各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長が取りまとめ、各金融機関の振込依頼書又はA T M等を用いて、振り込むこと。

イ 振込先 大会要項参照のこと。

(3) 参加取消に伴う納入金の取り扱い

ア 参加申込期限日までの取消については返金する。ただし、振込手数料を差し引いた額とする。

イ 参加申込期限日後の取消については、返金しない。

◇引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

(2) 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。ただし、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

◇得点（選手権校決定）

(1) 学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、以下による。

個人種目は、1位16点、2位15点…16位1点とし、リレー種目は1位32点、2位30点…16位2点とす

る。同着の場合は、次の順位を欠位とし、得点は欠位のものを加え等分した得点をそれぞれに与える。B決勝を行わない個人種目は、決勝進出者を除く予選上位8位に対して9位8点…16位1点を与える。リレー種目は、決勝進出チームを除く予選上位8位に対して9位16点…16位2点とする。なお、16位同着については得点の1/2をそれぞれに与える。総合得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

- 1 リレーによる得点の多い学校
- 2 入賞者数の多い学校（ただし、リレーは4と計算する。）
- 3 1位の数
- 4 2位の数（以下、8位までこれにならう。）

◇ドーピング検査

本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用される。

◇表彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。

(1) 男女とも各種目の第3位までにメダルならびに賞状を授与し、その榮譽を称え表彰する。また、第4位から第8位までには賞状を授与する。

(2) 総合成績

男女とも優勝校および第2位・第3位の学校の榮譽を称え表彰する。また、第4位から第8位までの学校には賞状を授与する。

優勝校には優勝杯を授与する。

男子 高松宮記念杯・(公財)全国高等学校体育連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯

女子 高松宮妃記念杯・(公財)全国高等学校体育連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯

(3) 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

◇組合せ

平成29年8月3日(木) 10:00セントラルスポーツ宮城G21プール会議室において組み合わせを行う。

◇公式練習の日程及び会場

場 所	期 間				
	16日 (水)	17日 (木)	18日 (金)	19日 (土)	20日 (日)
セントラルスポーツ宮城G21プール メインプール 50m屋内10レーン	10:00～ 17:00	7:30～ 9:10	7:30～9:15		
		競技終了後～18:00			
セントラルスポーツ宮城G21プール <サブプール> 25m屋内8レーン		7:30～ 18:00 (開会式 を除く)	7:30～18:00		7:30～ 閉会式前
利府町屋内温水プール 25m7レーン	10:00～ 16:00	7:30～16:30			7:30～ 13:00

◇会 議

会 議 名	日 時	会 場
組合せ会議	7月31日（月）～8月3日（木） 組合せは8月3日（木）に開催	セントラルスポーツ宮城G21 プール会議室
水泳専門部常任委員会	8月16日（水）11時00分～13時00分	セキスイハイム スーパーアリーナ 視聴覚室
監督者会議	8月16日（水）16時00分～17時30分	セキスイハイム スーパーアリーナ サブアリーナ
全国高体連水泳専門部会	8月17日（木）17時45分～19時00分	セキスイハイム スーパーアリーナ 視聴覚室

◇宿 泊 宿泊については、開催地実行委員会宿泊要項による。

◇連絡事項

- (1) プログラムの無料配布は、全国高等学校総合体育大会開催基準要項による。
- (2) 競技中の疾病、負傷等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 引率責任者は選手の行動に対して責任を負うものとする。
- (4) 開会式の参加選手は、各ブロックから男子10名、女子10名、計20名とする。閉会式は表彰を受けるチームと開催ブロック選手団から編成する。
- (5) (公財)日本水泳連盟競技者登録のIDカードを必ず持参すること。(記録認定で必要)
- (6) その他
 - ア 選手の大会期間中における本会場の開門時刻は、原則として「公式練習の日程及び会場」の使用開始時刻とする。
 - イ 駐車場の利用については、HPに掲載する注意事項を確認すること。
 - ウ 大会会場の入場については監督者会議で連絡する。
 - エ 観覧席の地区割振り等については、別途計画し、監督者会議で示す。
 - オ 会場でのプライベートテントの使用はできない。

◇問合せ先 大会要項参照のこと。

飛 込 競 技

- ◇主 催 (公財)日本水泳連盟・(公財)全国高等学校体育連盟・宮城県・宮城県教育委員会・利府町・利府町教育委員会
- ◇共 催 読売新聞社
- ◇主 管 (公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部・宮城県高等学校体育連盟・(一財)宮城県水泳連盟
- ◇後 援 スポーツ庁・(公財)日本体育協会・日本放送協会・(公財)宮城県体育協会・利府町体育協会
- ◇協 賛 J T B
- ◇期 日

- (1) 開会式 平成29年8月17日(木) 9時30分～
- (2) 競 技 平成29年8月17日(木)～8月20日(日) 4日間
- (3) 閉会式 平成29年8月20日(日) 15時50分～(予定)

◇会 場

- (1) 開会式 セントラルスポーツ宮城G21プール
〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1 TEL 022-356-1122
- (2) 競 技 同 上
- (3) 閉会式 同 上

◇競技方法

2017年度(公財)日本水泳連盟飛込競技規則による。

ア 参加選手16名以上の競技種目は、予選を行う。

イ 予選における演技種目は、自由選択飛とする。

ウ 予選の競技順は、地域予選会における得点の低い順に行う(抽選会は行わない)。決勝進出者は予選上位12位までの選手とし、決勝進出者に棄権者が出た場合は、繰上げをして12名を確保する。

エ 決勝は、各種目ともそれぞれの制限選択飛・自由選択飛の全種目で行う。ただし、決勝における自由選択演技種目は予選終了後30分以内であれば変更を認める。

オ 順位の設定は決勝の得点合計によって行う。

◇競技種目・競技日程

(1) 競技種目

ア 男子の部

- (ア) 3m飛板飛込 11演技種目
制限選択飛(難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目
自由選択飛 各群より6演技種目

- (イ) 高飛込 10演技種目
制限選択飛(難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目
自由選択飛 各群より6演技種目

イ 女子の部

- (ア) 3m飛板飛込 10演技種目
制限選択飛(難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目
自由選択飛 各群より5演技種目

- (イ) 高飛込 9演技種目
制限選択飛(難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目
自由選択飛 各群より5演技種目

(2) 競技日程

公式練習日 8月15日(火)、16日(水)

第1日 8月17日(木) 女子高飛込(予選)

男子シンクロナイズド3m飛板飛込(公開競技)

第2日	8月18日(金)	女子高飛込(決勝) 男子飛板飛込(予選) 女子シンクロナイズド3m飛板飛込(公開競技) 男子飛板飛込(決勝)
第3日	8月19日(土)	女子飛板飛込(予選・決勝)
第4日	8月20日(日)	男子高飛込(予選・決勝)

◇申込規定

1. 参加資格

(1) 競泳競技、参加資格1の(1)～(8)に準ずる。

(9) 前記(1)～(8)の他、以下によって参加資格を得た者。

ア 地域大会において、各競技種目の第1位の者。

イ 標準点数を突破した者(同点可)。

※審判員は各ブロックにおける、A級又はB級審判員によって構成される。

ウ 標準点数

種目	男子		女子	
飛板飛込(3m)	11演技	323.00	10演技	285.00
高飛込	10演技	288.00	9演技	260.00

エ 全国大会開催都道府県特別措置

地域大会において、開催都道府県に出場資格者がいない場合、その該当競技種目において成績上位の選手男女1名を、全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟および加盟団体に推薦することができる。

オ 全国大会特別措置

国際水泳競技大会の代表選手は、都道府県・地域大会を経なくても出場できる。

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。ただし、その理由書(特別措置申請書)を都道府県高体連水泳専門部委員長に提出し、その後、委員長は下記へ提出すること。

なお、届出者は当該学校長とする。

(ア) 学校登録の各都道府県高体連水泳専門部長

(イ) 地域大会開催都道府県高体連会長

(ウ) 地域大会開催都道府県高体連水泳専門部長

(エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

2. 参加制限

1校1種目3名以内とする。

3. 参加申込

【個人情報の取扱いに関して】

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。(詳しくは実施要項の最終ページを参照してください。)

(1) 申込書類

A 飛込(男女別)参加種目別一覧表及び学校長認知書……(ダウンロードにより4枚作成)

1 会場地実行委員会事務局送付用

2 都道府県高体連事務局用

3 宿泊申込書添付用

4 参加校控

B 参加校別選手数一覧及び参加料納入書……(ダウンロードにより2枚作成)

1 会場地実行委員会事務局送付用

2 都道府県高体連水泳専門部控用

C 飛込（男女別）種目別参加申込書……………（ダウンロードにより2枚作成）

- 1 会場地実行委員会事務局送付用
- 2 地域大会主管団体控用

ただし、地域大会における飛込競技記録（飛込報告用紙の写し（副）2枚複写）の1通を必ず添付すること。（添付のないものは、受け付けない。）

(2) 申込方法

(注) 申込書類A・Bの送付については、各都道府県の高等学校体育連盟（以下、この項においては「高体連」という。）水泳専門部委員長が一括して手続きをし、Cについては地域大会飛込責任者及び(公財)全国高体連専門部飛込委員会地域責任者が一括して手続きすること。

ア 参加校が作成・手続き・保管するもの

「A. 飛込（男女別）参加種目別一覧表及び学校長認知書（以下、「A. 学校長認知書」という。）」地域大会終了後、「はばたけ世界へ 南東北総体2017」ホームページから「A. 学校長認知書」の様式をダウンロードして、4部作成する。その後、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込日までに提出し、返却された1部（参加校控）を保管する。

イ 各都道府県高体連水泳専門部が作成・手続き・保管するもの

① 「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」

「はばたけ世界へ 南東北総体2017」ホームページから「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」の様式をダウンロードして参加申込日までに2部作成。1部は参加料振込証明書（各金融機関の振込金受取書又はATM利用明細票等）を添えて会場地実行委員会事務局へ送付する。残り1部は各専門部の控えとする。

② 「A. 学校長認知書」

各学校より提出された「A. 学校長認知書」を確認し、1部コピーをして各専門部控とするとともに、残りの4枚は次の送付先へ送付・返却する。

- 1 会場地実行委員会事務局送付用……………会場地実行委員会事務局へ
- 2 都道府県高体連事務局用……………各都道府県高体連事務局へ
- 3 宿泊申込書添付用……………宿泊申込書に添付し、宿泊申込先へ
- 4 参加校控……………参加校へ

※ 申込期日に届かないと思われる場合には、地域大会責任者の印にて先に申し込み、後日、学校長の印にて各都道府県高体連水泳専門部委員長（部長）が正式に申し込むこと。

ウ 地域大会主管団体が作成・手続き・保管するもの

「C. 飛込（男女別）種目別参加申込書」

「はばたけ世界へ 南東北総体2017」ホームページから「C. 飛込（男女別）種目別参加申込書」の様式をダウンロードして2枚作成する。「地域大会主管団体控用」を保管するとともに、残り1枚は会場地実行委員会事務局へ送付すること。

なお、作成したデータは会場地実行委員会事務局へメール添付して提出すること。

(3) 飛込演技種目申込手続きについて

飛込参加者は、既定のダイブシートに自分が行おうとする飛込演技種目の番号、名称、型、飛板又は台の高さ、難易度を記入して、それぞれの当該競技の前日12時から15時までの間に、飛込プールサイドの「ダイブシート投函箱」に入れること。なお、予選用および決勝用を必ず提出すること。

(4) 申込先

ア 会場地事務局

大会要項参照のこと。

(5) 申込期限 平成29年7月28日（金）正午 必着

ア 地域大会終了後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は、本大会選手数を、当該都道府県高等学校体育連盟事務局に届け出ることを義務とする。

イ 申込書類については、必ず簡易書留郵便で送付すること。

- (6) 「はばたけ世界へ 南東北総体2017」 ホームページ
《<http://2017soutai.jp/>》

4. 参加料

- (1) 1人 4,000円

(2) 納入方法

ア 参加申込と同時に各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長が取りまとめ、各金融機関の振込依頼書又はATM等を用いて、下記の口座に振り込むこと。

イ 振込先 大会要項参照のこと。

(3) 参加取消に伴う納入金の取り扱い

ア 参加申込期限日までの取消については返金する。ただし、振込手数料を差し引いた額とする。

イ 参加申込期限日後の取消については、返金しない。

◇引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

(2) 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

◇得点（選手権校決定）

学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、以下による。

各種目は1位8点、2位7点………8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

1 入賞者数の多い学校

2 1位の数

3 2位の数（以下、8位までこれにならう。）

4 当該入賞者の得点の平均点が高い者のいる学校（平均点は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出する。）

5 当該入賞者の得点の中で、1種目について最も高い数値を得た者のいる学校

◇ドーピング検査

本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用される。

◇表彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。

(1) 男女とも各種目の第3位までにメダルならびに賞状を授与し、その栄誉を称え表彰する。また、第4位から第8位までには賞状を授与する。

(2) 総合成績

男女とも優勝校および第2位・第3位の学校の栄誉を称え表彰する。また、第4位から第8位までの学校には賞状を授与する。

優勝校には優勝杯を授与する。

男子 (公財)全国高等学校体育連盟会長杯・(公財)日本水泳連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯

女子 (公財)全国高等学校体育連盟会長杯・(公財)日本水泳連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯

(3) 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(4) 3大会連続で優勝した者（同一種目3連覇、シンクロは除く）を優秀選手として表彰する。

(5) オリンピック等国際大会出場者は、3大会連続優勝した選手とは別に特別優秀選手として表彰する。

◇公式練習の日程及び会場

期 間 場 所	15日 (火)	16日 (水)	17日 (木)	18日 (金)	19日 (土)	20日 (日)
セントラルスポーツ 宮城G21プール 〈ダイビングプール〉	13:00 ～ 17:00	10:00 ～ 17:00	7:30 ～ 9:10	7:30～競技開始30分前 自由練習		
				競技のない時間帯および 競技終了後～18:00 自由練習		

◇諸 会 議

会 議 名	日 時	会 場
組合せ会議	8月3日(木) 10時00分～	セントラルスポーツ宮城G21 プール会議室
水泳専門部常任委員会	8月16日(水) 11時00分～13時00分	セキスイハイム スーパーアリーナ視聴覚室
監督者会議	8月16日(水) 16時00分～17時30分	セキスイハイム スーパーアリーナ サブアリーナ及び視聴覚室
全国高体連水泳専門部会	8月17日(木) 17時45分～19時00分	セキスイハイム スーパーアリーナ視聴覚室
全国高体連飛込委員会	8月18日(金) 18時00分～19時30分	セキスイハイム スーパーアリーナ視聴覚室

◇宿 泊 開催地実行委員会宿泊要項による。

◇連絡事項

- (1) 競泳競技(1)～(3)に準ずる。
- (4) 開会式の参加選手は、競泳競技と合わせて各ブロックから男子10名、女子10名、計20名とする。開会式は表彰を受けるチームと開催ブロック選手団から編成する。
- (5) その他
 - ア 選手の大会期間中における本会場の開門時刻は、原則として「公式練習の日程及び会場」の使用開始時刻とする。
 - イ 駐車場については、HP掲載の注意事項を確認すること。
 - ウ 大会会場の入場については、監督者会議にて連絡する。
 - エ 観覧席の地区割振り等については、別途計画し監督者会議で示す。
 - オ 会場でのプライベートテントの使用はできない。

◇問合せ先 大会要項参照のこと。

シンクロダイビング (公開競技)

◇競技種目

(1) 男子シンクロナイズド3m飛板飛込(異群より4演技種目)

難易度構成表にかかわらず難易度を2.0とみなすもの 2演技種目

自由選択飛(前踏切の場合は助走を伴うこと) 2演技種目

(2) 女子シンクロナイズド3m飛板飛込(異群より4演技種目)

難易度構成表にかかわらず難易度を2.0とみなすもの 2演技種目

自由選択飛(前踏切の場合は助走を伴うこと) 2演技種目

※平成29年度は、飛込台の規格によりシンクロナイズド高飛込が行えないため、シンクロナイズド3m飛板飛込のみ実施する。

※種目数は変更する場合もある。

◇競技日程

公式練習日 8月15日(火)、16日(水)

第1日 8月17日(木) 女子高飛込(予選)
男子シンクロナイズド3m飛板飛込
女子高飛込(決勝)

第2日 8月18日(金) 男子飛板飛込(予選)
女子シンクロナイズド3m飛板飛込
男子飛板飛込(決勝)

第3日 8月19日(土) 女子飛板飛込(予選・決勝)

第4日 8月20日(日) 男子高飛込(予選・決勝)

◇会場 セントラルスポーツ宮城G21プール

◇競技規則

2017年度(公財)日本水泳連盟飛込競技規則による。

◇競技方法

(1) 順位の決定は、4演技種目の得点合計によって行う。

(2) シンクロナイズド飛込は公開競技であり、学校得点には加算しない。

◇参加資格

当該種目の参加資格を2名とも得ていること。

◇参加制限

(1) シンクロチームは、各地域から1チームとする。

(2) 1位~3位までに入賞した地域は、次年度出場権を得たものとする。したがって2チームの参加が認められる。

(3) 本大会の2チーム参加可能地域は、以下の通りとする。

男子：関東、北信越 女子：北信越、中国、近畿

◇参加申込

※個人情報の取扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。(詳しくは実施要項の最終ページを参照すること)

(1) 申込書類

D シンクロナイズド飛込(男女別)種目別参加申込書

(2) 申込方法

地域大会飛込担当者が一括して手続きを行い、大会地実行委員会事務局へ送付すること。

なお、作成したデータは大会地実行委員会へメール添付して提出すること。

(3) 飛込演技種目申込手続きについて

シンクロナイズド飛込参加者は、既定のダイブシートに、チームが行おうとする飛込演技種目の番号、名称、型、難易度を記入して、それぞれの当該競技の前日12時から15時までの間に、飛込プールサイドの「ダイブシート投函箱」に入れること。

(4) 申込先

ア 会場地事務局
大会要項参照のこと。

(5) 申込期限 平成29年7月28日(金) 正午 必着

ア 地域大会終了後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は、本大会選手数を、当該都道府県高等学校体育連盟事務局に届け出ることを義務とする。

イ 申込書類については、必ず簡易書留郵便で送付すること。

(6) 「はばたけ世界へ 南東北総体2017」ホームページ

《<http://2017soutai.jp/>》

◇表 彰

男女とも第3位までを表彰し、(公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部長の名義で賞状を授与する。

◇組 合 せ

平成29年8月3日(木) 10時00分 セントラルスポーツ宮城G21プール会議室において組合せを行う。

◇連絡事項

シンクロナイズド飛込競技の詳細は、監督者会議で決定する。

◇そ の 他

公開競技は、正式種目ではない。

◇問合せ先 大会要項参照のこと。

水 球 競 技

◇主 催 (公財)日本水泳連盟・(公財)全国高等学校体育連盟・宮城県・宮城県教育委員会・柴田町・柴田町教育委員会

◇共 催 読売新聞社

◇主 管 (公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部・宮城県高等学校体育連盟・(一財)宮城県水泳連盟

◇後 援 スポーツ庁・(公財)日本体育協会・日本放送協会・(公財)宮城県体育協会・柴田町体育協会

◇協 賛 J T B

◇期 日

- (1) 開会式 平成29年8月17日(木) 8時30分～
- (2) 競 技 平成29年8月17日(木)～20日(日) 4日間
- (3) 閉会式 平成29年8月20日(日) 12時30分～(予定)

◇会 場

- (1) 開会式 ヒルズ県南総合プール(宮城県仙南総合プール)
〒989-1621 宮城県柴田郡柴田町大字本船迫字十八津入地内 TEL 0224-56-1663
- (2) 競 技 同 上
- (3) 閉会式 同 上

◇公式計時 S E I K O

◇競技方法(選手権校決定)

2017年度(公財)日本水泳連盟水球競技規則による。

学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、下記による。

- (1) 全試合をトーナメントで行う。(3位決定戦も行う。)
なお、前年度成績上位4チームをシードし、組合せは公開抽選を行う。
- (2) 競技時間については、8分4ピリオドとする。また、ピリオド間は、2分-5分-2分とする。
- (3) 全試合、同得点の場合は、ペナルティースhoot戦で勝敗を決定する。

◇競技種目・競技日程

(1) 競技種目

男子水球

(2) 競技日程

公式練習日 8月15日(火)～8月16日(水)

第1日 8月17日(木) トーナメント1回戦、2回戦 (6試合)

第2日 8月18日(金) トーナメント2回戦 (6試合)

第3日 8月19日(土) 準々決勝、準決勝 (6試合)

女子水球エキシビジョンマッチ(1試合)

※女子水球エキシビジョンマッチの競技方法等については、別に定める。

第4日 8月20日(日) 3位決定戦、決勝 (2試合)

◇申込規定

1. 参加資格

(1) 競泳競技、参加資格1の(1)～(8)に準ずる。

(9) 前記(1)～(8)の他、次の項によって参加資格を得た者。

ア 地域大会の成績によって、次のチームが本大会に出場できる。

北海道・東北 上位2位まで 関東 上位4位まで 北信越 上位2位まで

東海 上位2位まで 近畿 上位3位まで 中国 上位2位まで

四国 上位1位まで 九州 上位3位まで

イ 上記のチームの他、主催都道府県にチームがある場合は、主催都道府県枠として1チームを加える

ことができる。

注1 主催都道府県枠のチーム選考は、地域大会の成績により決定する。

注2 地域大会において、主催都道府県枠のチームが地域枠に入った場合は、地域大会順位が地域枠の次の順位のチームを繰上げ、地域枠+1チームとする。

ウ 地域大会出場チーム数がアの数に満たない場合でも試合を行い、順位を決める。

エ 主催都道府県のチームが不出場の場合、ならびに地域予選に出場するチーム数が地域枠に満たない場合は、(公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部と(公財)日本水泳連盟において協議し、全国大会は20チーム参加とする。

2. 参加制限

1チーム、監督1名、選手13名以内とする。

3. 参加申込

【個人情報の取扱いに関して】

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。(詳しくは実施要項の最終ページを参照すること。)

(1) 申込書類

A 水球参加選手一覧表及び学校長認知書……………(ダウンロードにより4枚複写)

1 大会地実行委員会事務局用

2 都道府県高体連事務局用

3 参加校控

4 宿泊申込書添付用

B 参加校別選手数一覧表及び参加料納入書……………(ダウンロードにより2枚複写)

1 大会地実行委員会事務局用

2 都道府県高体連水泳専門部控用

C 水球チーム別参加申込書……………(ダウンロードにより2枚複写)

1 大会地実行委員会事務局用

2 地域大会主管団体控用

(2) 申込方法

(注) 申込書類A・Bの送付については、各都道府県高等学校体育連盟(以下、この項においては「高体連」という。)水泳専門部委員長が一括して手続きをし、Cについては地域大会責任者(公財)全国高体連水泳専門部常任委員又は地域水球責任者が一括して手続きをすること。

ア 参加校が作成・手続き・保管するもの

「A 水球参加選手一覧表及び学校長認知書」(以下「A 学校長認知書」という。)

地域大会終了後、「はばたけ世界へ 南東北総体2017」ホームページから「A 学校長認知書」の様式をダウンロードして、4部作成する。その後、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込日までに提出し、返却された1部(参加校控)を保管する。

イ 各都道府県高体連水泳専門部が作成・保管するもの

① 「B 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」

「はばたけ世界へ 南東北総体2017」ホームページから「B 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」の様式をダウンロードして参加申込日までに2部作成する。1部は、参加料振込証明書(各金融機関の振込金受領書又はATM利用明細票等)を添えて大会地実行委員会事務局に送付する。残り1部は各専門部控えとする。

② 「A 学校長認知書」

各学校が作成した「A 学校長認知書」を確認し、1部をコピーをして各専門部控えとするとともに、残りの4枚は下記宛に1部ずつ送付・返却する。

1 大会地実行委員会事務局送付用……………大会地実行委員会事務局へ送付。

2 都道府県高体連事務局用……………都道府県高体連事務局へ送付。

3 参加校控……………参加校へ返却。

4 宿泊申込書添付用……………宿泊申込書に添付し、宿泊申込先へ送付。

※ 申込期日に届かないと思われる場合には、地域大会責任者の印にて先に申し込み、後日、学校長の印にて各都道府県高体連水泳専門部委員長（部長）が正式に申し込むこと。

ウ 地域大会主管団体が作成・保管するもの

「C 水球チーム別参加申込書」

「はばたけ世界へ 南東北総体2017」ホームページから「C 水球チーム別参加申込書」の様式をダウンロードして、2部作成する。「地域大会主管団体控用」を保管するとともに、残り1部は下記宛に送付する。

大会地実行委員会事務局……………大会地実行委員会事務局へ送付。

※ 参加申込書の選手登録番号は、試合におけるメンバー表の番号と同一であること。また、参加申込書の電子データを大会要項に示すメールアドレスまで、電子メールで送信すること。

エ 参加申込後の、けが・病気による選手交代について

監督者会議の3日前までに、大会地実行委員会事務局あてに、参加校保管の「学校長認知書」を訂正し「診断書」を添えて申し込む。

(3) 申込先

ア 会場地事務局

大会要項参照のこと。

(4) 申込期日 平成29年7月28日（金）正午必着

ア 地域大会終了後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は、本大会選手数を、当該都道府県高等学校体育連盟事務局に届け出ることを義務とする。

イ 申込書類については、必ず簡易書留郵便で送付すること。

(5) 「はばたけ世界へ 南東北総体2017」ホームページ

《<http://2017soutai.jp/>》

4. 参加料

(1) 水球 1チーム 40,000円

(2) 納入方法

ア 参加申込と同時に各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長がとりまとめ、各金融機関の振込金受取書又はATM等を用いて、下記の口座に振り込むこと。

イ 振込先 大会要項参照のこと。

◇引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。

(2) 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

◇ドーピング検査

本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用される。

◇表彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。

(1) 第3位までにメダルならびに賞状を授与し、その榮譽を称える。また、第4位には賞状を授与する。

(2) 優勝校には優勝杯を授与する。

(公財)全国高等学校体育連盟会長杯・(公財)日本水泳連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯

(3) 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(4) 第1位に日本選手権の出場権を与える。

(5) 第2位・第3位に日本選手権最終予選会の出場権を与える。

◇組合せ

平成29年8月3日（木）14時00分より、セントラルスポーツ宮城G21プール会議室において公開抽選を行う。

◇諸会議

会議名	月日 時間	会場
組合せ会議	8月3日（木）14時00分～16時00分	セントラルスポーツ宮城G21プール会議室
水泳専門部常任委員会	8月16日（水）11時00分～13時00分	セキスイハイムスーパーアリーナ 視聴覚室（G21プール隣接）
監督者会議	8月16日（水）16時00分～17時00分	ヒルズ県南総合プール トレーニングセンター研修室
全国高体連水泳専門部会	8月17日（木）17時45分～19時00分	セキスイハイムスーパーアリーナ 視聴覚室
全国高体連水球委員会	8月18日（金）17時30分～18時30分	ヒルズ県南総合プール トレーニングセンター研修室

◇公式練習日及び会場

場所 \ 期間	15日 （火）	16日 （水）	17日 （木）	18日 （金）	19日 （土）	20日 （日）
ヒルズ県南総合プール 〈メインプール〉 （競技場）	12:00～ 19:00 割当練習	9:00～ 18:00 割当練習	7:30～競技開始前招集まで → 第一試合両チーム 競技終了後～19:00 → 時間割当練習			8:00～ 11:00 割当練習
柴田高校屋内プール （ゴール設置）			8:00～19:00 割当練習			
柴田農林高校屋外プール （ゴール設置なし）	12:00～ 18:00 自由練習	9:00～18:00 自由練習				
仙台大学屋内プール （スイムのみ）		9:00～18:00 自由練習				

◇宿泊 開催地実行委員会宿泊要項による。

◇連絡事項

- （1）競泳競技（1）～（3）に準ずる。
- （4）その他

ア 選手の大会期間中における本会場の開門時間は、原則として公式練習の日程及び会場の使用開始時間とする。

イ 練習割当については、8月15日（火）午後より時間割当をする。

ウ 大会会場の入場については監督者会議で連絡する。

エ 会場駐車場は、台数に限りがあるので、公共交通機関の利用を推奨する。

なお、駐車に関するトラブル（駐車できないことにより生じるトラブルを含む）について、主催者は責任を負わない。

◇問合せ先 大会要項参照のこと。

女子水球エキシビジョンマッチ

◇趣 旨

現在、全国高等学校総合体育大会水泳競技大会の競技種目において水球競技は、男子のみ開催されている。女子の水球競技は、男子とともにオリンピック競技種目であり、また国民体育大会の競技種別に導入の検討が進められている。

今回、インターハイ開催期間中に高校生女子選手によるエキシビジョンマッチを実施することにより、女子水球を啓発するとともに普及・推進を図ることを目的とする。

◇期 日

平成29年8月19日（土） 14時10分（試合開始） ※大会第3日

◇会 場

ヒルズ県南総合プール（宮城県仙南総合プール）
〒989-1621 宮城県柴田郡柴田町大字本船迫字十八津入地内

◇競技規則

2017年度（公財）日本水泳連盟水球競技規則による。

◇対戦チーム（対象者）

本大会に競技補助員として参加している高校生を対象とし、下記の通り2チームに分けて実施する。

白チーム：東北地区高等学校水泳専門部推薦チーム

青チーム：未定

◇競技方法

本大会の第3日、準々決勝第4試合（試合番号⑩）と準決勝第1試合（試合番号⑰）の間の休憩時間を利用して行う。

- （1）競技時間は5分4ピリオドとし、ピリオド間は2分とする。各チーム、第3ピリオドが開始する前にエンドを交替する。
- （2）タイムアウトは請求できない。
- （3）1チーム、監督1名、選手13名以内とする。
- （4）審判員の割り当ては、審判長が行う。

◇参加申込

水球競技参加申込を参照すること。

◇宿 泊 開催地実行委員会宿泊要項による。

◇問合せ先 大会要項参照のこと。